

キャラクター名  
結城 奏汰

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	エンジェルハイロウ		年齢		17
オプション					
覚醒	感染	衝動	恐怖	初期侵食率	31 %
出自	結社の一員	経験	逃走	邂逅	協力者：霧谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	16
感覚	6	0	0	1		7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	0	0	1			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂好きの友人	
コネ：UGN幹部	

合計装甲： 0    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子(セレクトィッド)	P	N		
葛乃葉 成美(固定)	P 友情	N 偏愛		
灰空 秋(固定)	P 信頼	N 猜疑心		
創作居酒屋 思い出	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果： クリティカル値-LV								
光の手	1	2	メジャー					
効果： 【感覚】で判定可能。								
光の弓	1	1	メジャー	視界		対決		
効果： 攻撃力+[LV+2]の射撃攻撃。同エンゲージ不可。								
フラッシュゲイズ	5	3	オート	視界	単体	自動	80↑	
効果： 直前使用。判定ダイス-[LV×2]個。1ラウンド1回。								
絶対の孤独	4	3	メジャー	視界	単体	対決		
効果： 命中で判定ダイス-[LV+1]個の射撃攻撃。								
ミスディレクション	2	5	オート	視界	単体	自動		
効果： 直前使用。攻撃対象を単体に変更。1シナリオLV回。								
ランナウト	2	6	オート	至近	自身	自動	Dロイス	
効果： 直前使用。エフェクトLV+2。1シナリオLV回。								
ウサギの耳	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 雑踏の中でも離れた場所の音が聞ける。								
真昼の星	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果： 望遠鏡みたいに遠くのものまで見える。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ゆうき かなた。I高校2年生。一人暮らし。  
目や耳が異常によく、余計なものまで見たり聞いたりしてしまう。そのため眼鏡や帽子で視界を狭め、常にヘッドホンをして周りの音を遮断している。

両親が怪しい研究をしていたのは知っていた。けれど自分に接するときは普通の親のようで、沢山愛情をもらって過ごしていた。大きくなるにつれ両親が家を空ける時間が増えていったが、両親からの愛を疑っていなかった。しかし、ある日(当時15歳)急に両親に連れて行かれたのはある組織。よく分からない実験に使われることに怯え助けを求めると、両親は「やっとこの時がきた」と嬉しそうに彼を差し出した(見捨てた)。あったのは、実験対象に向ける愛だった。そのための自分(子供)だった。  
それからのことはあまりよく覚えていない。ただ、早い段階で隙について逃げさせたのは確か。  
そのあと親戚に助けを求めて今に至る。一人暮らしなのは、誰かとまた家族になって一緒に過ごすのが怖いから。

(裏話)  
両親はFHと協力関係にある中規模組織とある研究をしていた。そのためには、それに耐えうる強い精神と肉体を持ち、優秀な力を秘めた素体が必要だった。そんな中偶然彼らの間に産まれたのが<申し子>たる奏汰である。  
自分たちの子供が研究に役立つものだと知って、大切に育て理想の素体を作り上げることにした。その目論見はほぼ成功し、頃合いを見計らって実験に組み込んだ。  
その研究は実験体(奏汰)が逃げ出したことで中断せざるを得なくなった、らしい。

葛乃葉成美は大切な親友。声をかけてきたのは向こうが最初で、なにかと気にかけてくれる優しい奴だと思っている。長袖の件は自分も訳ありなのもあって、深く追及できないでいる。成美を傷つける奴は許さない。

クラスメイトの灰空秋が自分に好意を向けているのは気づいていたが、ついこの間真正面から告白された(させた)。「友達から…」という定番の台詞と共に聞